



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2020/8/30 Rd-1 ツインリンクもてぎ

天候：晴れ 気温：40℃ 出走台数：18 台

観客数：29 日(土)3,500 人 30 日(日)4,800 人 合計 8,300 人

過酷なコンディションで知られる真夏のツインリンクもてぎ開幕戦は、気温 40 度、路面温度 46 度という灼熱のコンディションの中で開催された。

今シーズンは、COVID-19 新型コロナウイルス対策として、スタッフの密集状態を下げるため、レースフォーマットが変更された。

レース距離は 35 周に短縮、レース中のタイヤ交換義務はなく、給油作業は禁止、使用タイヤはソフト 1 スペックのみとされた。

福住選手 9 番グリッド、山本選手は 14 番グリッドからスタートした両選手は、それぞれスタートの混乱をうまく切り抜け、福住選手は 2 ポジションアップの 7 番手で、山本選手は 6 ポジションと大きくポジションを上げて 8 番手で、オープニングラップを周回。

ここから両ドライバーを含む 6 台による 4 番手争いが 17 周にわたって繰り広げられた。

淡々とチャンスをうかがっていた福住選手は、18 周目のバックストレートで小林選手をオーバーテイクし 6 番手に浮上。翌周には 8 番手につけていた山本選手も、バックストレートで小林選手に並んだが、2 台が交錯し、山本選手はフロントウイングを破損。そのまま緊急ピットイン、15 番手まで順位を落とすことに。

22 周目、福住選手は関口選手とサイドバイサイドのバトルを展開。これを攻略し 5 番手へ。前方がクリアになった両ドライバーは、共にベストタイムを更新しながら前を追うが、福住選手 5 位、山本選手は 13 位で開幕戦を終えた。

5：山本選手 13 位 (HONDA 勢 6 位)

スタートとオープニングラップはとてもよく、レースペースも速かったので、4 位争いグループの中、ポジションアップの機会をうかがっていました。バックストレートのバトルで接触し戦線離脱となってしまう、結果を残すことはできませんでしたが、前向きな要素も多くあり、同時に問題点もはっきりしたので、これらを次戦に生かして挽回をします。

6：福住選手 5 位 (HONDA 勢 1 位)

9 番グリッドからのスタートでしたが、あらゆるチャンスを生かして前に行こうと、まずは好スタートを狙っていました。スタートで順位を上げ、4 番手争いグループの中から、チャンスを無駄にせずに 2 台を抜き 5 番手までポジションアップ出来ました。その後のクリーンな状態でのペースもよく、5 位でポイントを持ち帰ることができました。

週末を通して、自分自身も車も非常に良かったので、予選の失敗が悔やまれます。

改善すべき部分がありますので、次戦岡山に向けてデータ分析し、さらに成長したいと思います。